



全国学力・学習状況調査とNRT(標準学力検査) ～結果と分析～

本校では、4月に6年生が「全国学力・学習状況調査」(国語・算数)を、3年生～5年生が「NRT(標準学力検査)」(国語・算数)を実施し、子ども達一人ひとりの学力の定着状況の確認とともに、教職員の指導方法の改善に役立てています。個別の結果等については、すでにお知らせしてありますが、全体的な調査結果と分析ができましたので、以下の通りお知らせいたします。

【全国平均との比較】

○全国学力・学習状況調査では、算数は、ほぼ全国平均と同程度、国語は、全国平均をやや下回る結果になりました。

○NRTでは、国語は、すべての学年が全国平均を上回り、算数は、ほぼ全国平均と同程度か全国平均を上回る結果になりました。



【学力調査からみられる本校児童の特徴】

○6年生の国語では、「言語についての知識・理解・技能」の漢字の定着に大きな課題がみられ、漢字学習の充実を図る必要性を感じました。その他の「話すこと・聞くこと」「読むこと」「国語への関心・意欲・態度」に関する問題は平均を上回るものが多く、本校の研修の成果が表れてきていると思われます。特に、目的に応じた話し方や話し手の意図を捉えて聞く力は定着してきていることが分かりました。

○6年生の算数では、「量と測定」や「減法や除法の計算の仕方を解釈し、適用する」ことについての理解にやや課題が見られ、数学的な考え方の弱さを感じます。基本的な問題にとどまらず、工夫して解く問題に触れたり、様々な考え方に触れたりする経験をたくさんさせていく必要があると思います。また、「図形」や「数量関係」に関する問題は平均を上回るものが多く、「数量や図形についての技能」においては全国平均と同程度の力がついてきていることが分かりました。

○NRTの3年生の国語では、どの領域も全国平均を上回りましたが、「話題に沿って話し合う」「主語・述語を正しくおさえる」領域に弱みがあるようです。どんな話題について話しているのか話の前後を読み取り考えることや、文章を読むときには主語・述語を意識できるように指導していきたいと思います。算数では、全体的に全国平均とほぼ同程度でしたが、「量と測定」「図形」「数量関係」の領域で「長さ」「かさ」「三角形」「式の読み取り」に弱みがあるようです。丁寧に復習する機会を持ち、確実に習得できるようにしていきたいと思います。

4年生の国語では、ほとんどの領域で全国平均を上回る結果でした。3年生までの取り組みの成果であると言えます。弱みとしては、「ローマ字を書くこと」があげられますが、パソコンのタイピング練習や外国語の時間、朝学、家庭学習の場を活用し定着を図りたいと思います。算数では、「図形」が全国平均を上回り強みである反面、「数と計算」「数量関係」の多くの領域で全国平均を下回る結果でした。特に計算力が弱いことが分かり、基礎的な計算練習を繰り返し行っていきたいと思います。

5年生の国語では、「説明的な文章を読むこと」「話題に沿って話し合うこと」「修飾・被修飾の関係、接続語」についての理解は全国平均を大きく上回り、その他の領域では全国平均をやや上回っていました。各学年での日々の学習の積み重ねが基礎的な国語の力を定着させてきていると思われます。算数では、「数と計算」「図形」「数量関係」の領域で全国平均を上回っていましたが、「量と測定」では下回っています。全般的にはやや上回っている結果ですが、「面積」「角」に弱みがあり、分度器の使い方など具体的な操作活動を大切にしながら学習を進めていきたいと思います。

【児童質問紙からみられる本校児童の特徴】

○「自分にはよいところがありますか」では、全国平均を大きく上回り、昨年度と同様の結果になりました。学校づくりビジョンの「自己有用感を向上させる取り組み」の成果であると考えます。また、「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますか」では、肯定的な回答が97ポイント以上あり、「学校に行くのは楽しいと思いますか」では、肯定的な回答が95ポイントありました。これは、本校の教育活動の取り組みの成果であるとともに、子ども達の素直さや誠実さ、そして教師と児童との信頼関係の強さの表れであると言えます。





○家庭学習に関しては、「家で自分で計画を立てて勉強していますか」では、「している」の回答が全国平均を4ポイント下回りました。また、家庭での一日の学習時間は、全国平均の73分より約10分少ない結果でした。基礎基本の力を定着させるためにも更なる家庭学習の充実が必要であると思われます。学校から「家庭学習のてびき」をだしたり、子ども達の自主学習のよいノートを紹介したりするなどの取り組みを行っていますが、結果につながるよう具体的な取り組みを更に工夫していきたいと考えます。

○「今住んでいる地域の行事に参加していますか」では、肯定的に回答した児童が、全国平均を13ポイントも上回っています。これは学校が地域と連携し、地域の協力を得て教育活動を進めたり、子ども達が地域の方々から大切にされ、子ども達の生活が地域に密着していたりすることの表れであると考えられます。

○「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」では、10ポイント全国平均を上回りました。これは、学校の取り組みとして、ホワイトボード等を活用し、個々の考えを伝えあう話し合い活動を大切にしていることが大きな要因の一つになっていると思います。

○「学校のきまりを守っていますか」と「人が困っている時は、進んで助けますか」では、ともに96ポイントの児童が肯定的に回答しました。また、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」では、100%肯定的な回答をしてくれました。これは、『けやきっ子十か条』を中心に「当たり前」のことを当たり前にするすてきな学校を目指して、本校が取り組んでいる学校づくりビジョンの成果が少しずつ形になってきていると思われます。

【指導の工夫と授業改善】

○「書くこと」では、物語の感想文や説明文の報告書を書く取り組みで、型に合わせて書くことから始め、徐々に自由に書かせるように段階を踏んで指導したことが効果的であったと考えられるので、継続して指導する。

○「読むこと」では、教科書の叙述を根拠とした個人の読み取りを大切にし、ホワイトボード等を活用して共有することで更なる読みの深まりを図る。

○「言語」では、朝の学習の時間を有効活用し、継続して漢字の習熟に取り組む。

○「話すこと」については、話す場を多く設定して話すことに慣れさせたり、自分の話し方を振り返る機会を持たせたりして話す力を付ける取り組みをさらに充実させる。

○算数の学習では、「なぜそうなるのか」と考えることを大切にし、単なる暗記ではなく公式を忘れてしまっても導き出せたり、記憶に残りやすくしたりする指導を継続していく。

○「めあて」と「振り返り」の一体化を意識して授業を充実させることにより、学習内容の定着を図る。

○友だち同士で説明し合ったり教え合ったりする活動を大切にし、学習内容の定着を図る。

○家庭学習の時間を充実させるために、中学校の家庭学習モデルの提示、自主学習の推奨、自主学習ノートのよい見本の提示、励ましの言葉がけなどを継続して粘り強く行う。

○反復練習だけでなく、実際の生活で活用する場面を想定した家庭学習の充実を図る。

○保幼小中の連携や学年間の連携した取り組みを充実させ、段差のない教育の実現を目指す。



学力調査の全国平均との比較、本校児童の特徴などこれらの分析結果を踏まえ、上記のように指導の工夫や、日常的な学習の強化に学校全体として取り組んでいきます。保護者の皆様にもゲームや携帯、スマホについてのルール作りや家庭学習の習慣化など、児童の地域や家庭での生活リズムの定着に向けてご協力をよろしくお願いします。

運動会 大成功！

～笑顔いっぱい応援しあい、全力で勝利を目指した運動会～



先日の運動会では、保護者の皆様から子どもたちへの温かいご声援・ご支援をいただき、本当にありがとうございました。運動会の取り組みを全力でやりとげることができた子どもたちにとって、またひとつ大きく成長する機会となったことでしょう。また、ドーム周辺が工事中の運動会ということもあり、多少不安のある運動会でしたが、たくさんの方のご協力もあって、子ども達にとっても満足できる運動会になったのではないかと考えています。

最後に、運動会のスムーズな運営にご協力いただきましたPTA本部役員の皆様。皆様のご協力のおかげもありまして「笑顔いっぱい応援しあい全力で勝利をめざせ！けやきっ子」のスローガンのもと、最高の運動会にすることができました。ありがとうございました。そして、お疲れ様でした。